



題字 藤原田 親

No. 990

2023/2/1

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒111-0953  
東京都台東区浅草橋2-2-3  
浅草橋ビル5階  
電話 03(5629)2144(代)  
FAX 03(5629)2141  
http://www.jcf-jc.jp  
E-mail: nichu@jcf.jp  
郵政 90119-1-21178

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-0034  
岡山市北区下伊福  
西町1-53 民生会館1F  
TEL: FAX 0861 250-1806

日中友好協会  
倉敷支部  
〒713-8031  
倉敷市福成町2番地2461-41  
TEL: FAX 0861 455-7860

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhongyouhao.iinaa.net/>  
メールアドレス  
nichuokayama@yahoo.co.jp



## 友好新聞にも掲載された元気な田川支部に追いつきたい！

昨年11月26日、27日に太極拳初段審査会と簡化24式講習会のため、炭坑節の発祥の地「福岡県連田川支部」に行ってきました。

初段審査会では半日かけて、岡山支部の受講生よりも多い10名を審査しました。初めての段位審査で緊張して普段の実力が出せないなか、6名合格しました。夜は有志の方々の懇親会で楽しいひと時を過ごしました。

翌日は1日講習会に約60名が参加し、太極拳の「身体の使い方」や「何をしている動作なのか」等を解説しながらあつという間に1日が過ぎました。

田川支部に招かれるのは、3回目です。昨年、太極拳普及の中心だった中村仁美本部指導員が他界され、今までの活動を維持するために支部のみなさんが、一生懸命頑張っている姿に感動しました。岡山支部も同様に事務局長だった小林軍治さんが他界されました。軍治さんの功績を無駄にしないよう頑張らしましょう。岡山支部の太極拳受講生も増やさねばと強く思います。私が指導している講習会は、毎週水曜日19時から21時に市立操山中学校の柔剣道場で開催しています。体験してみたい方、3回までは無料なのでお気軽にご連絡ください。

(連絡先 090-3633-5714 青木)

青木正美



## 中国映画を見る会

真田

1月15日の日曜日の13時半から、岡輝公民館の実技室で標記の会を開催しました。



チラシでお知らせしていた「悲情城市」のDVDは、字幕が中国語ということに11日に気づきました。それからあちらこちらで探しましたが、1989年の台湾映画なので、アマゾンで1本のみ高額で載っていましたが、ツタヤでも在庫がなく借りることもできませんでした。

そこで、倉敷の太漏さんをお願いして、手持ちの中国映画を貸していただきました。その中の1本が「龍城恋歌」です。政策総指揮がチャン・イーモウということ、内容に期待が持てます。しかし、ネットで調べてみると、一族皆殺しというバイオレンスな内容でした。時間がないので、上映しましたが、最初のバイオレンスな雰囲気は次第に変わり、皆殺しにあつた一族の生き残りの娘である主人公の、ウー・チェンレンの美しさが際立っていました。彼女が狙う敵の親玉の息子が、日本へ留学していて、一時帰国しているという設定に時代を感じさせます。

ラストの展開は駆け足で、あつと驚く結末になるのですが、主人公の彼女と、殺し屋である恋人は、無事に彼氏の故郷に向かうこととなります。また機会があれば観てください。お勧めです。

反省点が、まだあります。会場ではパソコンでの再生ができなくて、DVDの再生機を公民館から借りてかろうじて上映できました。帰宅して同じことをやってみましたが、パソコンで再生できました。不思議です。

日中友好協会岡山支部では毎月第3日曜日の午後に文化活動を開催しています、ぜひご参加ください。

2月19日(日) 14:00 ~ 16:00  
京山公民館

針线包を作る会

参加費500円(材料費込み)

紙を折って収納ポケットがたくさんある小物入れを作ります。"針线包"は裁縫道具入れのことですが、出来上がった小物入れには他のものを入れても大丈夫です。

3月19日(日) 14:00 ~ 16:00  
京山公民館

中国人留学生との交流会

参加費無料

岡山に留学に来ている留学生との交流会です。留学生の出身地の話(観光名所や美味しいものなど)や、日本に来て感じることを聞けます。

12月1日・15日号に続き、梅田正己さんの文章を紹介します。岸田政権は昨年12月、安保関連3文書を閣議決定し、今後5年間で軍事費を倍増することを決めました。国会にかけることもなく、選挙で国民の意思を問うこともなく、強行されました。日中友好協会本部もこれに対し、「安保関連3文書の改定に抗議する協会声明」を発表しています。梅田さんのような視点が大変重要だと思い、皆さんに紹介します。

## 軍拡の大前提＝「脅威」は本当に存在するのか

——いまメディアが真っ先に問うべきことは

梅田 正己(日本ジャーナリスト会議会員)

### ◆北朝鮮は本当に「脅威」なのか？

2006年の米中韓日との6カ国会議の場でも必死に米国と交渉したし、トランプ前大統領とも3度にわたって会談した。しかし、いずれも寸前のところで米国は身をかまし、交渉は不発に終わっている。かくなる上は、米国を、身をかわせなくなる状況にまで追い込むしか方法はない。すなわち、核弾頭を装備したICBMを振りかざすことによって、米国にたいし休戦条約にかわる平和条約の締結を迫るしかない。

これがいわば、北朝鮮に残された、彼らが考える最後の生き残り策なのである。したがって、ミサイル発射実験も核実験も、相手国はただ一つ、米国なのである。日本などは眼中にない。

北朝鮮が日本に対して求めているのは、35年間にわたる植民地支配に対する謙虚な反省と代償であり、かつて日本政府が韓国に対して行なったのと同種の経済協力なのである。

そしてそのことは、2002年の「日朝平壤宣言」で金正日と小泉純一郎、当時の両国首脳が約束し合っている。日朝国交回復ができれば、それは実現に向かう。その日本に対して、北朝鮮がミサイルを撃ち込んでくることなどあるわけがない。それは人が自家に火を放つようなものだからである。

それなのに、自公政権は北朝鮮の現状を「従前よりも一層重大かつ差し迫った脅威」と決めつけ、大軍拡に向かって突進のスタートを切ろうとしている。「Jアラート」によって国民の危機感をあおったのと同様、これもフェイクである。

### ◆中国は本当に「脅威」なのか？

最後は、「中国の脅威」である。政府の国家安全保障戦略はそれを「これまでにない最大の戦略的な挑戦」と規定した。

近年、中国はたしかに軍事力の強化を急ぎ、南シナ海を力づくで内海化しようとしている。台湾に対しては8月のペロシ米下院議長の訪台を牽制するためミサイルを連続発射し、その一つが与那国島のEEZの端に着弾した。

しかし習近平国家主席が実際に台湾に軍事侵攻するなんてことがあるだろうか。もしそれを敢行すれば、いまのロシアがそうであるように、中国は世界中から批判・非難にさらされるに決まっているのに。

今日、中国が日本を抜いて米国に次ぐ経済大国となったのは、改革開放政策により国際経済のグラウンドに躍り出て「世界の工場」となったことによる。

バイデン大統領はこの10月に発表した国家安全保障戦略で、中国を「唯一の競争相手」としながらも、両国は「相互依存関係にあり、米国を含む諸外国との共有の利益を享受している」と述べた。

実際、米中の今年の貿易額は輸出入とも前年の3割前後も伸び、過去最高を記録している。

台湾の国民世論は民進党、国民党ともに圧倒的に現状維持を望んでいる。また台湾はいまや半導体の供給では世界をダントツでリードする先進国だ。その台湾を軍事力で暴力的にねじ伏せられるわけではない。

経済関係の重要性は、日中間でも同じである。07年以降、日本にとって中国は最大の貿易国であり、日本の対中依存度は高い。中国国内に拠点を置く日系企業は3万を数え、そこには10万人の日本人が生活している。

さる11月17日、バンコクで岸田首相は習近平氏と初めて対面で会談したが、その席で習氏はこう語った。

「アジアと世界の重要な国家として、われわれには多くの共同利益がある。中日関係の重要性は変わらないだろう。新時代の要請に沿った中日関係を構築していきたい。」(朝日、11. 18付)

経済面に重点を置けば、この発言は額面どおりに受け取ってよいだろう。

日中間に、尖閣諸島をめぐる問題はたしかに存在する。しかしこうした問題こそ、外交力によって解決すべきではないか。21世紀の今日、無人島の岩礁をめぐるGDP2位と3位の大国同士が軍事力で争うなんて狂気の沙汰である。

ところがその狂気の沙汰を、日本政府は目下、実行に移そうとしている。

奄美大島から沖縄本島、宮古島、石垣島、そして与那国島までの南西諸島に、防衛省はミサイル基地、弾薬庫、沿岸監視基地を配備した。沖縄本島にはすでに空自部隊を増強した上に、陸自の第15旅団を実質2倍の「師団」に格上げして増強しようとしている。自衛隊は、佐世保に駐屯する「日本版海兵隊」の水陸機動団を中心に、時に米軍とも共同で上陸演習を何度も行なってきた。敵軍に占領された島嶼を、奪回するための上陸演習である。その敵国軍とは、地理を見ても中国軍以外には考えられない。

(次号につづく)

次回のお手伝いください。池田河井真田竹内

2月14日(火)午前10時半から民主会館2階で行います。